



Koshidaka HOLDINGS

株式会社 コシダカホールディングス

2017年8月期 中間

INTERIM BUSINESS REPORT

2016.9.1-2017.2.28



証券コード2157



10期連続の増収増益に向け、 「カラオケ事業」「カーブス事業」 「温浴事業」がすべて 好調に推移しております。

代表取締役社長 腰高 博

Q.1 当上期の業績はいかがでしたか？

当上期の連結業績は、引き続き増収増益基調を確保しております。カーブス事業の好調な推移が続いていることに加え、カラオケ事業の収益改善の本格化、さらには前期において年間黒字を果たした温浴事業の収益力向

上が進むなど、すべての事業が収益に貢献しております。

上場以来10期連続の増収増益に向け、下期以降も着実な事業運営を推し進めてまいります。

Q.2 「カラオケ事業」の状況と今後の展開を教えてください。

まず、国内既存店が堅調に推移しています。1都3県集中出店により“都市型駅前・繁華街店舗”の割合が増えてきたことに加えて、高校生向けの「ZEROカラ」施策、シニア層向けの「朝うた」キャンペーン、期間限定キャ

ンペーン「ゼロ円祭」など、当社独自の施策が高い集客力につながっております。

新規出店も順調に進捗しており、当上期は20店舗出店し、2017年2月末現在の国内店舗数は477店舗とな

りました。当期中に国内500店舗の大台越えを目指してまいります。

また海外事業の収益化、特に、「まねきねこ」化を進めているシンガポールが好調な業績を続けております。

Q.3 「カーブス事業」の躍進も続いていますね。

おかげさまでカーブスは、JCSI調査のフィットネスクラブ業種で顧客満足度第1位を3年連続で獲得しました。こうした皆様からの後押しを受けてカーブスの既存店の業績は非常に底堅く、常に前期を上回る水準

で推移しており、閉店する店舗がほとんどありません。

また、新規出店についても当期は90店舗の出店を計画しており、当上期は38店舗出店し、2017年2月末現在1,760店舗となっております。

会員数も順調に伸び、2017年2月末現在78万人となりました。「100万人」という未踏の大台に向けて、店舗網の拡充と顧客満足度向上の一層の努力を積み重ねてまいります。

Q.4 収益貢献事業となった「温浴事業」の好調も持続していますね。

温浴事業では現在、国内で直営5店舗を展開しており、前期においてこの5店舗すべてが増収および年間黒字を果たしました。当期に入っても好調が持続し、利益率はカラオケ事業のそれを上回る高水準となってき

ました。

これは、水道光熱費抑制などのコスト削減に努めたこととお金の“出”を最小化し、同時に、広く社員から企画を募集するなどして独自のサービスや施策を打ち出すことで集客力を高めて

お金の“入り”を最大化する、両面作戦を地道に続けてきた成果です。

居抜き再生ノウハウが確実に蓄積されてきたことを受け、今後、新規出店の検討など、次の成長ステージを見据えた取り組みにも着手してまいります。

Q.5 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

2016年11月、当社はお陰様で東証一部に上場いたしました。そして本年は、創業から50年、株式上場から10年という大きな節目を迎えております。

そうした中、当社は、「グループ売上高1,000億円」という目標を掲げています。前期売上高の倍近い目標ですが、実現に向けチャレンジしていきたいと思っております。コシダカグ

ループは、これまでの50年を礎に、常に挑戦し続ける起業家精神を次の50年へとつなげてまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

私たちコシダカの挑戦

私たちコシダカは創業50周年を迎えました。

グループ売上高1,000億円の早期達成を目指してさらなる成長を続けてまいります。

カラオケ事業

常に一步先の新しい提案により、業界をリード

当社グループのカラオケ店舗数は、国内477店舗、海外24店舗（共に2017年2月末現在）。業界を代表するリーディングカンパニーです。

居抜き出店戦略によってドミナントの迅速な拡大を行ってきた当社は、近年、首都圏エリアへと進出し、現在1都3県（東京・千葉・埼玉・神奈川）における店舗拡大を推進中です。

主カブランド「カラオケまねきねこ」のほか、“お一人様消費”対応の先駆けとなった新業態「ワンカラ」（ひとりカラオケ専門店）を開発、新たな需要を創造してきました。また、当社独自のシステム「すきっと」では、アイドルやアニメ、あるいは英会話など、様々な文化を発信する新しい仕組みを提案するメディアとして支持を広げています。さらに、高校生向けの「ZEROカラ」施策やシニア層向けの「朝うた」キャンペーンなど、客層拡大のための様々な提案を業界に先駆けて展開、収益に貢献しています。



カーブス事業

顧客満足度第1位を基礎に、成長を持続

「女性だけの30分健康体操教室」をキャッチフレーズに躍進を続ける「カーブス」。2017年2月末現在の店舗数は、全国1,760店舗を数えます。

「手軽に、誰でも、何歳でも」ご加入いただけ、ご利用に当たっては「予約不要」、女性だけのスタッフ編成で「1回わずか30分」の独自のプログラムを提供しています。こうした一般のフィットネスクラブとは一線を画したコンセプトが多くの女性の支持を集め、会員数も全国78万人まで増加しています。

近年、「健康寿命」社会の実現が標榜される中、自治体からの問合せも増え、一部ではコラボ出店事例も出ています。

2016年度JCSI（日本版顧客満足度指数）第6回調査では、フィットネスクラブ業種において3年連続で顧客満足度第1位を獲得しました。今後もきめ細かなマーケティング戦略を推し進め、成長を持続させていきます。



温浴事業

顧客目線の憩いの空間づくりを追求

カラオケ事業で培ったノウハウを活かし、「居抜き再生」による出店で2010年に温浴事業に進出しました。現在、「まねきの湯」と「らんぶの湯」の2ブランドで、直営の温浴施設を5店舗展開しています。

設備の老朽化などからコストが掛かっていた状況を解決するために、コージェネレーションシステムなど最新設備に置き換える投資に加え、低コストでの運営ノウハウの蓄積に努めた結果、利益体質の事業への転換に成功しました。また、ソフト面においても、独自性の高い運営手法やイベントの展開など、顧客目線からの憩いの空間づくりに注力しています。たとえば、「小学生以下入館料無料、中・高・大学生学割」というサービスを導入、口コミで徐々に広がり、今や強力な集客要素の一つとなっています。

今後も、顧客目線を重視した運営により、地域のお客様に愛される温浴施設を目指します。



業態間のシナジーを図り、グループ力を最大限発揮していきます。

事業セグメント別状況

(2016年9月1日～2017年2月28日)

事業セグメント別売上高構成

カラオケ事業

当第2四半期連結累計期間実績

146億85百万円

売上高構成比 54.7%

カーブス事業

当第2四半期連結累計期間実績

111億92百万円

売上高構成比 41.7%

温浴事業

当第2四半期連結累計期間実績

8億27百万円

売上高構成比 3.1%

売上高
268億60百万円

不動産管理事業

当第2四半期連結累計期間実績

1億54百万円

売上高構成比 0.6%

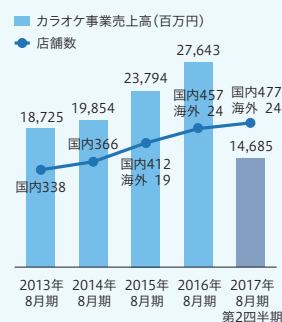
カラオケ事業



「カラオケまねきねこ」は、「安心・安全」「リーズナブル」「フレンドリー」なカラオケ店として、地域の幅広いお客様に愛され、全国に400店舗以上を展開、店舗数日本トップクラスを誇るカラオケチェーンに成長しています。

業績の状況

国内では、首都圏を中心とした店舗網の充実に重点的に取り組むとともに、他社にはない当社独自のサービスの充実に注力しました。海外では韓国への直営店舗展開、シンガポールでの既存店のリニューアルや新店の開設など積極的な取り組みを行いました。その結果、売上高は146億85百万円(前年同期比6.6%増)、セグメント利益は10億81百万円(同41.6%増)となりました。



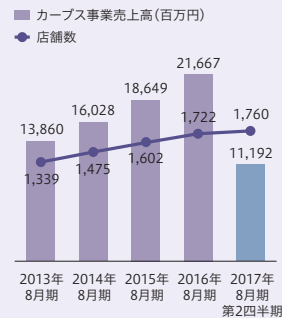
カーブス事業



「カーブス」は、米国テキサス州で生まれ、グローバルに展開されている世界最大級のフィットネスチェーン。日本におけるカーブスは、2005年のカーブスジャパン設立以来、世界市場の中でも大きな成長を遂げています。

業績の状況

運動習慣をより多くの人達に広めていくことによる会員数の継続的拡大と、店舗網の充実をさらに進め、店舗での運動と相乗効果の高いプロテイン等の会員様向け物販も伸び、業容の拡大に貢献しました。その結果、売上高は111億92百万円(前年同期比15.6%増)、セグメント利益は23億70百万円(同12.5%増)となりました。



温浴事業



「まねきの湯」「らんぷの湯」を全国で5店舗運営。温浴はもちろんのこと、食事、リラクゼーション、宴会など様々な楽しみ方が選べる施設として、お子様連れのファミリーをはじめ幅広い年代層のお客様にご利用いただいています。

業績の状況

人材育成やコスト管理面など、カラオケ事業で培ってきた様々なノウハウを活用するとともに、水道光熱費などの固定費の削減に向けて抜本的改革を行い、温浴施設経営の再生に取り組みました。その結果、売上高は8億27百万円(前年同期比6.6%増)、セグメント利益は77百万円(同143.6%増)となりました。

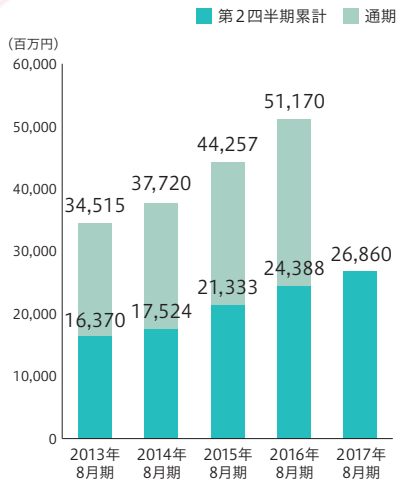
不動産管理事業

業績の状況

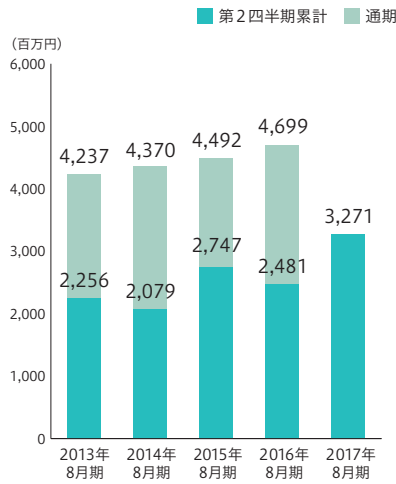
売上高は、1億54百万円(前年同期比0.9%減)、セグメント利益は58百万円(同14.6%増)となりました。

数字で見るコシダカ

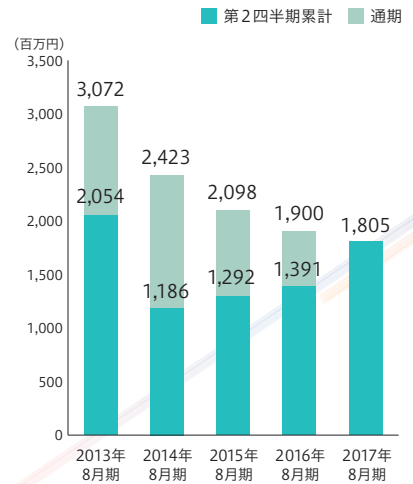
売上高



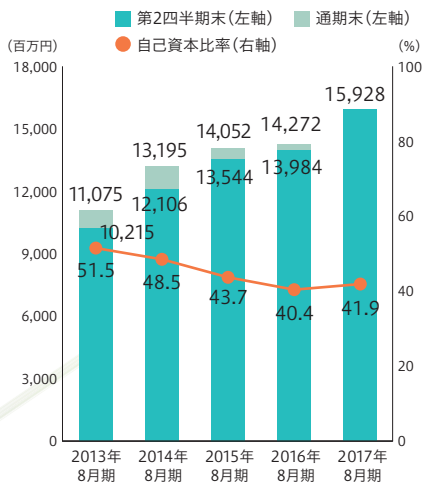
経常利益



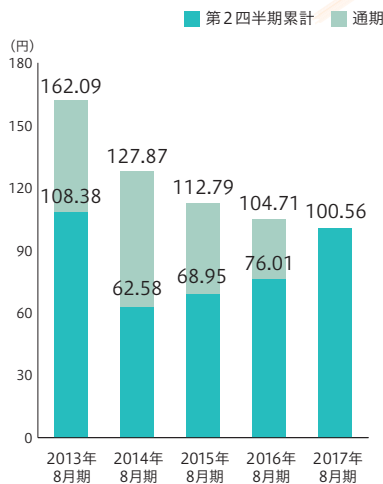
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



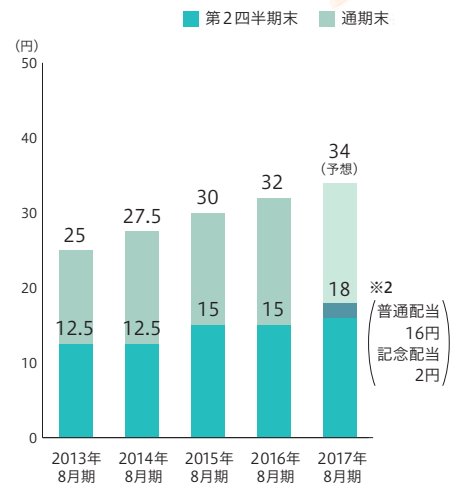
純資産/自己資本比率



1株当たり四半期(当期)純利益※1



1株当たり配当金※1



※1 2014年9月1日付で1:2の株式分割を行いました。当該株式分割を加味し、分割以前の1株当たり四半期(当期)純利益額、および1株当たり配当金を算出してあります。
 ※2 東京証券取引所市場第一部への市場変更を記念し、2017年8月期第2四半期末配当金において、1株当たり2円の記念配当を実施しました。

コラム IN DETAIL

アジアのカラオケ事情とコシダカの海外展開

2011年に韓国、2014年にシンガポール進出(現地企業の買収)を果たし、2017年2月末現在の海外店舗数は24店舗となっています。そして、海外3番目の進出先として現在、ベトナム、インドネシア、フィリピンなどを検討しています。

これら3つの候補地はどれも、働き盛りの若い世代が多い人口構造で、経済は成長・発展段階にあります。そうした中で、余暇の一環として“ファミリーカラオケ”の文化が育ってきており、より大きな市場性が期待できる状況にあります。



シンガポールでは、順次「K BOX」の「まねきねこ」化を展開、顧客満足度と競争力の向上に取り組んでいる



韓国では13店舗を出店、市場の状況に合った業態を確立し、拡大を目指す

韓国

シンガポール

インフォメーション

会社の概要 (2017年2月28日現在)

会社名 株式会社コシダカホールディングス
 英訳名 KOSHIDAKA HOLDINGS Co., LTD.
 設立年月日 1967年3月31日
 東京本社 東京都港区浜松町二丁目4-1
 世界貿易センタービルディング23階
 前橋本社 群馬県前橋市大友町一丁目5-1
 資本金 4億9,360万円
 事業内容 カラオケ事業(店舗数:国内477店舗)
 カーブス事業(加盟店舗数:1,760店舗)
 温浴事業(店舗数:5店舗)
 従業員数 グループ従業員3,889名
 (正社員1,137名、パート・アルバイト2,752名)
 パート・アルバイトは1日8時間換算人数

役員 (2017年2月28日現在)

代表取締役社長 腰高 博 社外取締役(監査等委員) 西 智彦
 専務取締役 腰高 修 社外取締役(監査等委員) 寺石 雅英
 常務取締役 朝倉 一博 社外取締役(監査等委員) 森内 茂之
 常務取締役 腰高 美和子
 常務取締役 土井 義人

大株主 (上位5名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヨウザン	5,332,000	27.77
腰高 博	2,310,000	12.03
株式会社アイエムオー	1,366,000	7.11
株式会社コシダカホールディングス	1,000,409	5.21
ビービーエイチ フィデリティ ロー プライズ ストック ファンド	633,780	3.30

Webサイトリニューアルのお知らせ



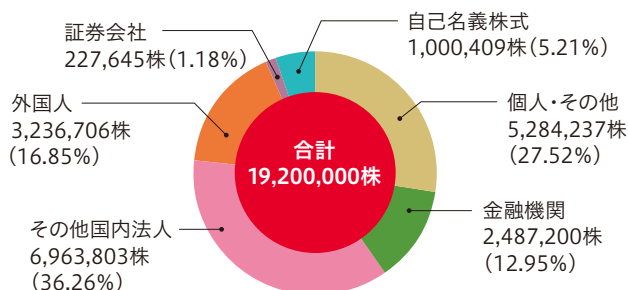
Webサイトをリニューアルいたしました。当社に関する詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.koshidakaholdings.co.jp/>

株式の状況 (2017年2月28日現在)

発行可能株式総数 76,800,000株 株主数 6,922名
 発行済株式の総数 19,200,000株

所有者別株式分布状況 (2017年2月28日現在)



株主メモ (2017年2月28日現在)

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
 定時株主総会 毎年11月下旬
 基準日 毎年8月31日
 定時株主総会・期末配当 毎年2月末日
 中間配当 東京千代田区丸の内一丁目4番1号
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 東京千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店でっております。
 住所変更のお申し出について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
 「配当金計算書」について 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。
 ※確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

株主優待のご案内

2017年8月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上の株式を保有されている株主様に、株主優待の実施を予定しております。
 2016年は当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様全員に一律5,000円相当の株主優待券、加えて所有株式数に応じたカタログギフトをお送りいたしました。

(2016年実績紹介)

(1)対象となる株主	2017年8月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単元(100株)以上を保有いただいている株主様
(2)優待の内容 (2016年実績)	5,000円相当の株主優待券  +  所有株式数に応じた カタログギフト
(3)贈呈時期	12月上旬を予定しております

※2017年の優待内容が決定いたしましたら、Webサイト等でお知らせいたします。



株式会社コシダカホールディングス

〒105-6123 東京都港区浜松町二丁目4-1
 電話 03-6403-5710(代) Fax 03-6403-5727



環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。